

**「第 3 次奈良県男女共同参画計画
(奈良県女性の輝き・活躍促進計画)」
の達成状況について**

**奈良県こども・女性局
女性活躍推進課**

<達成状況の評価方法>

計画策定時の当初値と実績値(直近値)を比較して、その達成状況により、4段階(目標達成・改善・変動なし・悪化)の評価指標で評価をしました。

【目標指標の達成度】

- A: 目標達成
- B: 改善(目標未達成) *1
- C: 変動なし
- D: 悪化 *2

*1: 累計が指標になっているもの、または計画策定時の当初値がない指標は、目標の8割に達している場合

*2: 累計が指標になっているもの、または計画策定時の当初値がない指標は、目標の8割に達していない場合

<評価結果概要>

成果指標【7指標】 ※参考指標を除く	【評価結果】 目標達成:0 改善:6 変化なし:0 悪化:1 【評価概要】 ・女性のボランティア活動の行動者率については、計画策定時を下回り悪化
行動指標【45指標】	【評価結果】 目標達成:14 改善:19 変化なし:0 悪化:12 【評価概要】 ・目標達成の中では、特に・県職員の管理職における女性の割合(課長補佐級以上)(医療関係職員、教育委員会、県警を除く)、女性の起業セミナーの受講者数が目標を上回って達成した。 ・固定的な性別役割分担意識に肯定的な人の割合は、当初値に比べ6.7ポイント減少し、改善が見られたが、目標達成には至らなかった。 ・数値が悪化した中では、特に介護員(ヘルパー)養成数、性・妊娠等の思春期の課題に対する学校への専門家派遣件数などの指標が目標を大きく下回った。

今後はさらに、就業を希望する女性が就業できるよう、長時間労働や男性の育児参画推進といった取組を進めるとともに、固定的役割分担意識の払拭を図り、一人ひとりがワーク・ライフ・シナジーを実現できる取組を進めていく必要がある。